

3年世界史研究自習課題(3)

1	前7世紀前半にオリエントを初めて統一した、セム語系の王国を何というか。	
2	上記1の滅亡後、オリエントは4国分立時代に入るが、小アジア南西部に栄えたインド=ヨーロッパ語系の国で、世界最古の金属貨幣をつくったものを何というか。	
3	同じく、イラン高原に成立したインド=ヨーロッパ語系の国を何というか。	
4	同じく、カルデア人がメソポタミアに建てた国で、バビロン捕囚をおこしたものは何か。	
5	上記3の国から独立したイラン人(ペルシア人)の王朝で、4国分立を克服して再びオリエントを統一したものを何というか。	
6	この王朝第3代の王で、エーゲ海北岸からインダス川に至る大帝国を建設したのは誰か。	
7	彼は全国を約20の州に分けてそれぞれ知事をおいたが、この知事を何というか。	
8	彼は各州の知事を監視するために、王直属の監察官を派遣したが、これを何というか。	
9	善悪二元論に基づき、最後の審判の思想を特徴とする、ペルシア人の宗教を何というか。	
10	ダレイオス1世が建設を始めたが、のちアレクサンドロス大王に破壊され、廃墟となった王都を何というか。	
11	アレクサンドロス大王の死後、そのアジアの領土を受け継いだギリシア系の王朝を何というか。	
12	前3世紀の半ばにこの王朝から独立した、アム川上流のギリシア人の王国を何というか。	
13	前3世紀の半ばに、カスピ海南東の遊牧イラン人が上記11の王朝から独立したが、この王国を何というか。	
14	上記11は、前2世紀にメソポタミアを併合した後、ティグリス川東岸の何という都市に都を定めたか。	
15	上記11を倒して、農耕イラン人がササン朝を建国したのは西暦何年か。	
16	ササン朝の初代の君主は誰か。	
17	6世紀中頃に現れた、ササン朝最盛期の皇帝は誰か。	
18	新興のイスラーム軍と戦って敗れ、ササン朝が事実上崩壊した戦いを何というか。	
19	ササン朝時代に国教とされ、教会組織も確立した宗教を何というか。	
20	ササン朝時代には、この宗教の教典も完成するが、その名称を答えよ。	
21	3世紀前半にササン朝で新しく生まれた、上記19の宗教や仏教・キリスト教を融合した宗教を何というか。	

()講座()組()番()

この問題は、教科書P23～26を読んでやること